



博物館の窓

第117回

学芸員 持田 誠

今年は終戦80年です。浦幌では厚内駅に停車中の列車が7月15日早朝に空襲され、3名（一説には4名）の犠牲者が出た「厚内空襲」からも80年になります。

厚内空襲は2回あった

これまで厚内空襲について、地域の方の間で、「空襲は2回あった」という話が語り継がれてきました。これを裏付ける資料が無いか探したところ、浦幌小学校に残されている旧厚内小学校の日誌に、「午前四時五十三分 数機来襲 機銃掃射を受く」のあと「第二回七時掃射」の記述があるのを確認しました。

日誌によれば、2名の犠牲者は2回目の空襲で死亡したとされています。空襲の史実について、引き続き調査を続けます。

赤線の部分が厚内空襲のあった
1945年7月15日の朝の記述。
（『厚内小学校沿革史』浦幌小学校収蔵）

